

教育目標【心豊かに学び、ふるさとを愛し、たくましく生きる子どもの育成】

幸福度ナンバーワンのコミュニティ・スクールに！

厚保中学校だより

令和5年
10月号

厚保は古(いにしえ)より、ジェンダー・フリー先進地

校長 西村 睦人

ジェンダー・フリーとは“男性と女性が性別による役割を背負わず、自由に能力を発揮するという意味の和製英語です。かつて学校では、男子は技術、女子は家庭科を別々に履修し、生徒会長は男子が当たり前の時代でした。学びの場面や日常生活の中でも何気なく出ていた「男だから」「女だから」という無意識の決めつけもあったと思います。

本校は、生徒会長は女子で、男女も仲良く協力的です。保護者の方も、育友会の話し合いや行事の中で男女がお互いに協力して、活発に活動を進めています。また、地域でも夏まつりの餅つき準備では、老若男女が集って準備を進めておられましたし、公民館で行われる各種会議でも、構成員は男女バランスが良く、お互いを気遣い、心配りのある発言を常にされています。

さて、最近、東京工業大学准教授の治部れんげさんの『男女格差後進国の衝撃』(小学館)という本を読みました。その中に少し過激な言い回しですが「男尊女卑をやめない地域は滅びる」という小見出しがありました。政治的な側面にふれ、今だに「女に政治ができるか」という差別的な発言が出る地域がある反面、地域を再生したい一心で出馬して当選した女性のことが比較して書かれていました。本気で地方創生を望むなら性別や年齢にかかわらずやる気と能力が生かされるべきだとも言っています。

読み進めていく中で、(あくまでも類推ですが)平安から鎌倉時代から発展している厚保は、まさにジェンダー・フリー先進地ではなかったのかと考えるようになりました。平氏知行国の長門国厚保は、平安時代の貴族の婚姻制度に大きな影響を受けていたと思います。当時の日本は母子社会で家を継ぐのは女性、財産も家を継ぐ女性に多く配分されていました。鎌倉時代前期には、源氏の支配の中で全国的に見て女性領主も多く、惣領制のもとで財産分与も男女で均等でした。源平の合戦後、源氏方の支配を受けた厚保も少なからず影響を受けていたことでしょう。また、1425年に忌宮神社から勧請された神功皇后神社は聖母・母子の信仰であり、『日本書紀』によると皇后は約70年間摂政として君臨し、政治に関わったとされています。近世においては、家父長制度の中で女性は男性に従属を強いられていた時代にも関わらず、酒造家で永代大庄屋格來嶋清三郎の長女タケ=妻の実家横に新築・転居した又兵衛・・・彼が江戸藩邸勤めの時に、家族にあてた愛情いっぱいの手紙の内容を見るにつけ、古の厚保の様子が、今の厚保と重なって見えてきます。 明るい未来を創生できる素敵なまち、それが「厚保」です。

山口先生からのメッセージ!

「君は1日が36時間あったら天才だね。」これは私が高校生だったとき、同級生から言われた言葉です。この言葉を聞いて私は「なるほど。」と考えさせられました。みなさんだったらこの言葉をどのように受け取りますか？ きっと、そのとても賢い同級生は「たしかに君は丁寧だけれど、時間をかけすぎているいろいろなことが円滑に回らないでしょう。」と、冗談交じりに伝えたかったのではないかと思います。

私は決して“時間をかけること”は欠点だとは思いません。しかし、“時間をかける価値があるのか”は一考する必要があると強く感じます。ゲームを1日2時間しようと、ソファーで2時間過ごそうと、お風呂に2時間入ろうと、別にかまわないのです。でも、その行動は果たして“今日その瞬間に時間をかける価値”があるのでしょうか。もっと優先すべきことはないのでしょうか。すべての人に平等に与えられているのは「1日24時間」なのです。

と言いつつも、私は時間の使い方がまだまだ下手でついにもたしてしまいます。現に昨日も疲れてボーッと、スマホを無駄に触ってしまいました。そんな時、私はあの同級生の芯を食った言葉をふと思い出すのです。

令和5年度 厚保中学校運動会を終えて……

〈1年生〉

○中学生になって初めての運動会で、最初は不安だったけれど、先輩に引っ張ってもらい、とても楽しく充実しました。小学校の時と同じで、あきらめなければいい結果がでると学ぶことができ、良かったです。

○みんなで、一つの目標に向けて頑張ることはすごく大切でした。他の人が頑張っている時も、応援しました。



〈2年生〉

○「運迷走」のとき、私は最初のサッカーボール運びから上手いかず、次のテニスボール運びでも失敗してばかりでした。だから結果最下位でした。でも、最後のフラフープを5回跳ぶとき皆が、「一、二、三、四、五」と一緒に数えてくれました。すごく嬉しかったです。ゴールした後、「最後まであきらめずに頑張ったらこんなにも嬉しいことがあるんだ」と思いました。



〈3年生〉

○僕が特に心に残っているシーンは優勝が分かった時です。半日のプログラムの全てが頭の中を駆け巡りました。応援の部では同点優勝でした。

両組のそれぞれの本気を見せ合うことができました。リレーのバトン渡しの練習や絆リレーの個々の練習が一気に発揮され、優勝へと繋がりました。団長になって本当によかったと思えました。

中学校最後の運動会、最高！



運動会のお礼

9月2日の運動会実施にあたり、事前の8月19日に奉仕作業を行いました。保護者を始め一部地域の方々にも校舎周辺の環境整備をしていただきベストな状態で運動会を行うことができました。また、当日には、多くの保護者、地域の方々のご観覧を得て、生徒達もそれを励みに精一杯頑張りました。

天候にも恵まれ、本当に盛り上がり、思い出に残る運動会を行うことができましたことを感謝申し上げます。

10月の主な行事予定

4日(水)	1, 2年栗ご飯実習
5日(木)	2年浴衣着付け教室
7、8日	県新人大会(卓球)
10日(月)	全学年学力診断テスト
11日(水)	学校安全マップづくり
14、15日	県新人大会(野球)
16日(月)	2年学力定着状況確認問題
18日(水)	1年学力定着状況確認問題
28日(土)	あつ文化祭【ステージ】
30日(月)	振替週休日(10/28分)
31日(火)	2年キャリア学習会